



碧空



第3号

セミの鳴き声が聞こえる暑い8月から雪の降る寒い12月まで、長かった2学期が終わり、今日が2学期の終業式となりました。今年度は、1学期と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインによる実施となりました。

○2学期終業式の校長講話 大切な最愛の人

みなさん、こんにちは。

今日で2学期が終わります。86日間の長い2学期でした。

8月は感染レベルが6の中からの厳しい状況の中でのスタートでしたが、皆さんは「みんなでアイデアを出し合い、知恵を絞り、できることを見つけ、できる範囲で精いっぱい取り組んで」くれました。

3年生は3年ぶりに10月に2泊3日で奈良・京都に修学旅行に行くことができました。(中略)

一方で、自分の気持ちを分かってもらえなかったり、うまく伝えられなかったり、友達と意見が合わなかったりして、悩んだり、トラブルになったりした人もいました。友達や先生に相談をして一つひとつ解決をして、前に進み始めています。苦しいけれど、歯を食いしばって一歩踏み出す勇氣、それを支えてくれる友達・学級の仲間の姿がありました。常盤中学校での言葉、行動は温かいもの変わって来たでしょうか。みんなが笑顔で安心できる学校になるように、これからも全員で人権感覚を磨き、常盤中学校からいじめやかからかい・いじり・暴力など、人を悲しませる言葉や行動を無くしていきましょう。

さて、先日の人権教育まとめの会で、父が他界したことを話しました。

私の旦那さんの父ですね。今日はその父と母の話をしてください。父と母は、父の熱烈な一目ぼれで結婚しました。もともと家が近所で知り合いだったそうですが、家で新聞を読んでいる母の姿を見て、この人と結婚したいと思い、母の父親に申し込みに行ったそうです。昭和の、戦争が終わったばかりのことです。当時としてはまだまだとても珍しいことだったと思います。そんな熱烈なプロポーズで結婚したにもかかわらず、2人は全く合わない2人でした。趣味もスポーツと旅行と全く合わない。野球・ゴルフと休みの度に出かける父と、編み物や染色が好きで家にいる母、食べるものも、お肉大好きと、肉のおいも嫌い、カラオケ大好きと歌は全く歌わない…そんな2人でしたが、お互いを「全くもう、困った人だ」と言い合い、それでも、お互いのやりたいことを認めながら、3人の子どもを育て上げました。

歳を取り、母が認知症を患い、自分のことがいろいろできなくなりました。そんな母に対しても、父は、毎日毎日、おむつを代えたり、お風呂と一緒に一緒に入って背中を流したり、食事の世話をしたりしました。しだいに母は、大好きだった父も分からなくなりました。3人の子どもも分からなくなりました。会いに行っても、「どちらさまですか」と尋ねたり、初めての人に会うようなおびえた目で見たりしていました。最後には、介護施設に入った母を、父は週に2回は会いに行き、何も言わない、反応もしない母の手を握り、1時間も2時間も、話しかけていました。

そんな母が、亡くなりました。その時、父は淡々としていました。葬儀が終わって、遺骨を家に連れて帰ったとき、父は「これで、毎日家で話ができる」と、言っていました。

生前、母は、病気がちな自分が先に逝くと覚悟を決めていました。そこで、料理ができない父に教え込んだ「のりたま定食」…目玉焼きを焼き、ほうれん草のお浸しとオクラのみじん切り、それに味のりを出して、ご飯とみそ汁…父が好きなメニューで、父ができるもの、これを教え込みました。…父は、これを、まったく変えることなく毎朝食べ続けました。他におかずを持って行っても、他の料理を提案して教えようとしても、頑として変えませんでした。その献立を覚えてくれた時の母を思い出し、父の中では一緒に作っていたのかもしれない。それから、ちょうど3年、先日父が亡くなりました。この3年間、母がいなくなって父は本当にさみしかったのだと思います。

父にとって、母は、最愛の人でした。たとえ、返事をしてくれなくても、自分を忘れてしまっても、生きていてくれさえすればよかったのだと思います。そんな母に出会えた父、それだけ思ってもらえた母は幸せだと思います。

先日もお話ししました。皆さんも、皆さんのお父さんお母さんや家族にとって、生まれてきてくれたことがうれしい、生きていてくれるだけでいい、最愛の人です。みなさんの将来を心配するから、いろいろ注意をするし、時には厳しいことも言うかもしれない。けれど、家族にとって、皆さんは大切な大切な最愛の人なのです。

自分の周りにいる人も、その家族の人にとって最愛の人です。

自分の命、隣にいる人の命、自分の周りにいる人の命、そして、その人の思いを大切にしてください。

明日から1月5日までの10日間は、冬休みになります。この冬休み、家族で過ごす時間を大切に、日頃できない話をたくさんしてください。大掃除をしたり、お年取りの準備をしたり、初詣に出かけたりと、いろんな年末年始の生活があります。どうかそんなひとつひとつの当たり前の出来事が当たり前前にできることに感謝して、大切に過ごしてください。

それでは、健康と交通安全には十分注意して充実した休みを過ごし、3学期の始業式には皆さんと新しい希望と夢を胸に出発できることを願っています。よい年をお迎えください。

○2学期を振り返って

第53回常盤祭 Together ～ともに創り上げる最高の瞬間～



9月30日（金）・10月1日（土）、第53回常盤祭が開催されました。「Together ～ともに創り上げる最高の瞬間～」このテーマのもとで、文字通り、全校生徒で多くの活動を創り上げ、素晴らしい瞬間をたくさん過ごすことができました。常盤祭当日に向け、校友会役員を中心に、全校生徒が一丸となって準備を進めてきました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、ご来賓、地域の皆様への一般公開を中止とさせていただいた中での実施となりました。（保護者の皆様には、展示発表のみを参観していただき

きました）そんな中でもマスク着用、一人一人の間隔をできるだけ確保するなど、対策を十分に行い、全校生徒が体育館に集まって、音楽会等の全日程を予定通りに実施することができました。



生徒の感想より

- これまで常盤祭の準備をしてきた3年生に「ありがとうございます」と心の中で思いました。もっとすごい常盤祭を3年になったらつくっていききたいと思いました。最高の瞬間をつくり上げることができたのでよかったです。
- 1学年合唱を終えて、今まで練習してきたことが出せたと思いました。1人1人が息の吸い方や発音の仕方など教えてもらったことを意識していたと思います。みんなで心を1つにして歌えていたと思うのでとてもよかったです。
- 2、3年生のクラス合唱を聴いて、こんな少ない人数でもすごくきれいな合唱ができるんだなと思った。どの音もしっかり聴こえてきてすごくきれいだった！指揮もクラスの人がやっていてすごいと思った！自分たちもこうなりたいなあと思った。
- 今年の常盤祭は、準備から片付けまでが楽しかったです。部活動の発表は、完璧に吹けなかったけど、3年生と最後の演奏が楽しかったです。クラス合唱も学年合唱も良かったです。普段あまりしゃべらない人と準備や片付けで協力したことで、仲良くなれた気がしました。とてもいい2日間でした。



校友会総会・校友会引き継ぎ会

12月15日（木）、校友会総会と校友会引き継ぎ会が行われました。今年度もコロナ禍の中、できることを模索しながらの厳しい条件の中、校友会役員を中心に3年生の皆さんが、校友会活動をリードしてくれました。より良い学校生活のために、日常の活動はもちろんのこと、常盤祭や体育祭など、大きな行事も中心となって全校をリードしてくれました。校友会総会は今年度の校友会活動のまとめとして、また引き継ぎ会は来年度の校友会役員との引き継ぎのために実施されました。いよいよ校友会のバトンが2年生に受け渡されました。



○年末年始休業中における学校閉庁日について

今年度も須坂市内の小中学校は、令和4年12月29日（木）～令和5年1月3日（火）を学校閉庁日として設定させていただきました。この期間は終日、留守番電話対応となりますので、ご承知おきください。なお、緊急事態の場合は、須坂市役所の代表電話番号（245-1400）まで、ご連絡をお願いいたします。

良いお年をお迎えください。

須坂市立常盤中学校
担当：北澤 佳一（教頭）
電話：245-0326